

松澤宥生誕 100 年祭

2022 年 1 月 29 日 (土) ~ 3 月 21 日 (月・祝)



目次：

- ① 「まちなか展覧会」最新施設と展示情報…p.1-3
- ② イベント情報…p.3-4
- ③ クラウドファンディングのご案内…p. 4
- ④ 開催概要 / コロナ対策 / 実行組織概要 …p.4

別添: パフォーマンス・アーティスト略歴、松澤宥関連展示情報など

① まちなか展覧会

本企画のメインプログラムである「まちなか展覧会」は、以下の店舗、施設にご協力いただき開催いたします。会場ごとに開館/営業日時が異なります、ご来場の際はホームページや各種 SNS をご確認ください。

- ・ 諏訪湖博物館・赤彦記念館 [会期] 2022 年 1 月 29 日 (土) ~3 月 21 日 (月・祝)
 - ・ 御宿まるやギャラリー / マスヤゲストハウス / すみれ洋裁店 / ninjinsan / Café Tac/ Eric's Kitchen / UMI COFFEE & LAUNDRY / ぎん月 / 青木英侃邸 / ゆめひろ (上諏訪)
- 計 10 施設。[会期] 2022 年 1 月 29 日 (土) ~2 月 13 日 (日) [入場料] 無料

① - 0 諏訪湖博物館・赤彦記念館 (メイン会場)

「松澤宥と諏訪の友人たち/みんなで諏訪湖に作品を見せる」

世界的建築家である伊東豊雄が設計した本館をメイン会場として、代表作《消滅の幟》や初期絵画作品 (原画 10 数点・未発表または 1950 年代以来初公開)、松澤の全体像と諏訪での活動を伝える年譜や資料、写真などを展示します。エントランスホールには 11 月のワークショップで子供達が作った「白い丸」「メールアート」作品、松澤へのオマージュであるケイト・ジャスト《私はここにいる》幟を、講堂では晩年の松澤を追った写真家長沼宏昌氏が撮影したプサイの部屋の写真や映像作品を展示します。



[時間] 9:00-17:00 (入館は 16:30 まで) [休] 月曜日、祝日の翌日
[入館料] 350 円 (20 名以上の団体は一人 240 円、高校生以下無料)

「松澤宥生誕 100 年祭」に関する問い合わせ：

広報担当：那波・西谷 (リレーリレー) info@relayrelay.net / 090-8565-9161



①- 1 マスヤゲストハウス

「松澤宥 100 年祭 状況探知センター」
ゆったりとした空気のマスヤリビング&バーに代表作数点と、書棚に松澤関連書籍を設置。松澤探索をここから始めるのもおすすめ。

[時間] 11:00-23:00 [休] なし



①- 2 すみれ洋裁店 「何もしない」

松澤宥 100 歳のお誕生日を祝して、何もしないパーティーを 3 階にて厳かに開催いたします。「あいてるときはあいてるけどしまっているときはしまっています」

[時間] 13:00 - 19:00
[休] 1/29、30、31、2/8、9



①- 3 Café Tac

「写真だ！ギャティギャティ」

まだ海外旅行が当たり前ではなかった時代に、軽やかに世界を巡った先生の旅のスナップを中心に展示。先生に見守られながらガレットを食べよう。

[時間] 12:00-21:00 [休] 2/3、10



①- 4 ninjinsan

「松澤宥生誕 100 年祭に寄せて」

諏訪の超 BIG でワールドフェイマスなパイセンのかわいい写真とポスターの展示

[時間] 13:00-19:00
[休] 2/1、2、8、9



①- 5 ぎん月

「癒しのロビーで松澤絵画を」

安らぎと癒しの宿、ぎん月のロビーに松澤宥の絵画小品（原画、未発表作品含む）を展示します。日帰り温泉入浴（800 円）も可能。この機会にぜひ。

[時間] 11:00-16:00 [休] なし



①- 6 御宿まるや 工芸展・ギャラリー

「松澤の色彩とコーヒーの香り」

宿場の面影が残る御宿まるやのギャラリーとラウンジにて、松澤宥の絵画小品（原画、未発表作品含む）を展示します。茶房の甘酒やぜんざいもぜひ。

[時間] 10:30-17:00 [休] 2/2、3、9、10



①- 7 Eric's Kitchen

「記号詩の世界と自画像」

30 代の松澤が考えた記号詩と、同じ頃に描かれた自画像を展示します。暖まりに来てください。

[時間] 11:00-17:00 [休] 1/31、2/1、7、8

「松澤宥生誕 100 年祭」に関する問い合わせ：

広報担当：那波・西谷（リレーリレー） info@relayrelay.net / 090-8565-9161



①- 8 UMI COFFEE & LAUNDRY

「ポスター集めました」

新設したコインランドリースペースに、松澤さんゆかりのポスターを本人がデザインしたものも含め、広く集めてみました。コーヒーも美味しいよ。

[時間] 7:30-17:00 [休] 2/2、3、9、10



①- 9 ゆめひろ

《ブサイの部屋~消滅》《諏訪信仰》上映

晩年の松澤を追ったカメラマン長沼宏昌氏によるブサイの部屋や松澤関連作品を上映します。その他資料の展示も。

[時間] 14:00-16:00 [休] 1/30、2/6、13

①-10 青木英侃邸

「青木英侃邸」

芸術家青木英侃（あおき・ひでなお）のアトリエ。父靖恭は松澤の諏訪中学校以来の親友であり、教員の同僚であった。当時の面影をそのまま残すアトリエで二人の共同作品を数点展示。

[完全予約制] 090-3093-9983 までお問い合わせください。

② イベント情報

松澤宥生誕 100 年祭では、以下のイベントを開催する予定です。

②-1 トークイベント①「松澤宥ってどんな人？」

日時：2022年2月6日（日） 14:02 ~ *約2時間（途中休憩あり）

会場：諏訪湖博物館・赤彦記念館 講堂

登壇者：林 聡一（松澤宥生誕 100 年祭実行委員長 / スワニミズム美術部）

木内真由美（長野県立美術館主査学芸員）、古家満葉（長野県立美術館学芸員）

②-2 トークイベント②「諏訪と松澤宥」

日時：2022年2月19日（土） 14:02~ *約2時間（途中休憩あり）

会場：諏訪湖博物館・赤彦記念館 講堂

登壇者：石埜三千穂（スワニミズム事務局長）、石埜穂高（スワニミズム編集長）

嶋田美子（美術家・スワニミズム美術部）、井出賢一（スワニミズム美術部）

②-3 サウンドインスタレーション & パフォーマンス

「22 の音素による音会幻想」

松澤宥生誕 100 年を記念して、松澤芸術からインスピレーションを受けた音響の体験を構築します。さらに気鋭の芸術家、音楽家によるパフォーマンスアートが展開されます。

日時：2022年2月13日（日）

会場：諏訪湖博物館・赤彦記念館 エントランス

タイムスケジュール：

■ パフォーマンス 1 14:22~ 宮坂了作 パフォーマンス

■ パフォーマンス 2 15:22~ 北澤一伯 パフォーマンス

■ パフォーマンス 3 16:22~ 宮坂遼太郎 パフォーマンス

■ 音響設置 13:00~17:00 百瀬登（この間、不定期に音が流れます）

※パフォーマンス参加者の詳細は別添の資料をご覧ください。

「松澤宥生誕 100 年祭」に関する問い合わせ：

広報担当：那波・西谷（リレーリレー） info@relayrelay.net / 090-8565-9161

【補足資料-1】

■ 「22の音素による音会幻想」参加作家詳細



宮坂了作（みやさか・りょうさく）

私は今から48年前、アメリカのカリフォルニア芸術大学の教授アラン・カプローの元でハプニングを学んできました。アラン・カプローのクラスで始めに問われた言葉が「ファット イズ ユアー スターティング ポイント」でした。君の原点は何かと問われ、私は「ファーマー」農業と答えました。今でもこの言葉を忘れる事なく作品を作り続けています。

2021.12.31 宮坂了作
<https://www.ryosakumiyasaka.com/>



北澤一伯（きたざわ・かずのり）

1949年生まれ。美術を、物質と詩魂が交叉する場所の彫刻論として把握し、極私的な体験や土地の事件を題材にしなが、精神風土を再構築する「Reconquista(西語/失地回復)プロジェクト」を継続中である。上伊那郡辰野町にある廃屋を再構築した現場を2年後に再現制作した後、松澤宥が講演した「1806 プサイ亀と死んだ水うさぎ」（1997年旧日本通運事務所）と、詩を朗読した「約束の地の塩」（2000年辰野町商工会分館）を企画した。同世代における、物質か観念かの抗争を回顧する情念が為したことだと思う。

<http://matsumoto-artcenter.com>



宮坂遼太郎（みやさか・りょうたろう）

1995年生まれ。諏訪市出身、東京都東部在住。打楽器などでプレイ。大石晴子、折坂悠太、かさねぎリストバンド、DF7B、秘密基地、本日休演、Ryozo Bandなどのプロジェクトに参加中。2022年より宅録バンド"アナウンサーズ"、田上碧とのパフォーマンスユニット"二十世紀ヶ原"を始動。

<http://hoshikuzuzakura.com>
instagram: @hoshikuzuzakura



百瀬登（ももせ・のぼる）

高校にて美術教育を担当するかたわら、趣味で音楽制作に取り組む。NOBOKIN名義でインターネット中心に電子音楽作品を発表。学生時代に知った松澤宥について特別な想いをもち、車のナンバーは長年2222。スワニズム会員であり美術部。諏訪清陵高等学校教諭。下諏訪町出身。

<https://nobokin.myportfolio.com>

「松澤宥生誕 100 年祭」に関する問い合わせ：

広報担当：那波・西谷（リレーリレー） info@relayrelay.net / 090-8565-9161

【補足資料-2】

■ 松澤宥関連展示情報

YUTAKA MATSUZAWA: VANISHING IN THE WILDERNESS

Curated by Alan Longino & Reiko Tomii

会期：2021 年 12 月 12 日～2 月 19 日

会場：EMPTY GALLERY (香港)

<https://emptygallery.com>

令和 3 年度 茅野市美術館 常設展 第 4 期収蔵作品展「見えるもの、見えないもの」

会期：2022 年 1 月 10 日～3 月 27 日

会場：茅野市美術館

<http://www.chinoshiminkan.jp/museum/index.htm>

松澤宥 展 1998 年愛知県佐久島での出来事

会期：2022 年 1 月 11 日～3 月 11 日

会場：ART DRUG CENTER (宮城県石巻市)

<https://artdrugcenterishinomaki.blogspot.com/?m=1>

マツモト建築芸術祭

会期：2022 年 1 月 29 日～2 月 20 日

会場：松本市内名建築ほか (長野県松本市)

<https://maaf.jp/>

「生誕 100 年 松澤宥」

会期：2022 年 2 月 2 日 (水) ～3 月 21 日 (月・祝)

会場：長野県立美術館 (長野県長野市)

<https://nagano.art.museum>

「私の死 松澤宥」展

会期：2022 年 2 月 2 日～3 月 21 日

会場：マツモトアートセンター (長野県松本市)

<http://matsumoto-artcenter.com>

「松澤宥 ニルヴァーナ忌」

会期：2022 年 2 月上旬開催予定

会場：Roonee 247 Fine Arts (東京都中央区)

<https://www.roonee.jp>

■ 広報画像入手方法

広報用画像をご希望の方は、以下のリンクより必要事項を入力の上
お申し込みください。必要事項送信後、入手先の URL が表示されます。

<https://bit.ly/3GzOPH0>



「松澤宥生誕 100 年祭」に関する問い合わせ：

広報担当：那波・西谷 (リレーリレー) info@relayrelay.net / 090-8565-9161